

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	寺門 孝之 教授 末房 志野 教授 久本 直子 准教授
開 講 期 間	後期 (9/24 ~ 1/14)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜 1 限 (9:00 ~ 10:30)
履 修 条 件		募 集 人 員	10 名程度
教 室	7101 教室	連 絡 先	078-794-5025
授 業 形 態	講義		
授 業 方 法	対面		
学 習 目 標	イラストレーション及び絵本の歴史的背景から現在における展開について広範な知識を得る。特に現在の日本におけるイラストレーション、絵本の諸傾向について興味を喚起され、その多様性を歴史的に理解するための視点を自ら設定できるようになる。職業としてのイラストレーター、絵本作家の仕事の内容について具体的な知見を得る。		
授 業 概 要	ビジュアルコミュニケーションにおいて重要な役割を果たす「イラストレーション」の歴史、世界及び日本における諸傾向について、画像、映像あるいは現物資料を紹介し、論ずる。また、絵本についても多彩な視点から概観する。		
授 業 時 間 学 習 以 外 の 学 習 (準 備 学 習 含 む)	イラストレーション・絵本に日頃から関心を持ち、その収集・調査を怠らないでいることを推奨する。		
授 業 計 画	1	オリエンテーション／イラストレーション概論 (寺門・末房)	
	2	イラストレーションの場所 (末房)	
	3	アートとイラストレーションとデザイン(1) (末房)	
	4	アートとイラストレーションとデザイン(2) (末房)	
	5	日本のイラストレーションの基盤 浮世絵 (寺門)	
	6	目の表現の多様性とその変遷(1) (寺門)	
	7	目の表現の多様性とその変遷(2) (寺門)	
	8	物語とイラストレーション／桃太郎・不思議の国のアリス (寺門)	
	9	絵本の現在とその存在について (今売れている絵本とロングセラーの絵本) (久本)	
	10	絵本は誰に何を与え 何のために見るのか、そして描かれるのか (久本)	
	11	絵本制作のプロセス 登場人物、舞台、展開 制作 対象年齢について (久本)	
	12	絵本一考察 (1) ことばの力 読み聞かせ (久本)	
	13	絵本一考察 (2) 絵の力・文字の力 (久本)	
	14	絵の効用／神戸とイラストレーション (寺門)	
	15	ヘタウマとスーパーリアル (寺門)	
評 価 方 法	授業の各回に「レポート」あるいは「アンケート」の提出を課する。それら提出物 (全 15) の内容を総合的に判断し評価する。提出物が 10 に満たない場合は E 評価となる。		
教 科 書			
参 考 図 書	その都度紹介・指示をする。		
特 記 事 項	使用するアプリ等 Microsoft365 Teams、Forms 指導方法：各回の授業内で小レポートを課し、その場で寸評を加える。毎回レポート課題を設定し、課題提出教員が総評を次回の講義内または Teams 等を用いて公開する。 各自準備物：筆記用具。その他にも必要な場合には、各教員から事前に指示を出す。 備考(授業計画)：各回の内容・順序は必要に応じて変更されることがある。事前に授業・Teams で告知する。		